

LET65 プログラム

◎ ワークショップ、基調講演、シンポジウム

1 日目 (8/18)

	A (20 番教室)	B (29 番教室)	C (28 番教室)
ワークショップ 1 13:30 ～ 14:50	学習者データを「見る」：外国語教師のためのデータの 入力、分析、解釈方法 浦野 研 (北海学園大学)	Sketch Engine で始めるコーパス分析：外国語教育研 究への応用 村上 明 (バーミンガム大学)	教室で行うスピーキング（やり取り）の評価 小泉 利恵 (筑波大学) 会田 裕子 (筑波大学大学院)
ワークショップ 2 15:05 ～ 16:25	外国語教育における Research Synthesis の活用 青山 拓実 (明治大学)	AI tools in Foreign Language Education: Design, Usage, and Creation SPRING, Ryan (Tohoku University)	日本語学習者のインプットを扱った調査方法： praat を使用して 丸島 歩 (北海学園大学) 大久保 雅子 (早稲田大学)
ワークショップ 3 16:40 ～ 18:00	外国語の練習を再考する：『量』と『質』をどう生み 出すか 真家 峻 (東北大学)	Vocabulary Instruction in Class: Following Basic Principles KASAHARA, Kiwamu (Hokkaido University of Education)	

※ワークショップへの参加には、大会参加登録とは別にお申し込みが必要です。

※B-2, B-3 は英語で行われます。

2 日目・3 日目 (8/19-20)

基調講演 1 2 日目 (8/19) 13:30 ～ 14:30 32 番教室	AI とヒューマニティの共演 相川 孝子 (マサチューセッツ工科大学)
基調講演 2 3 日目 (8/20) 11:00 ～ 12:00 32 番教室	AI 時代の学習者英語研究：テキストを変える AI、テキストを測る AI 村上 明 (バーミンガム大学)
シンポジウム 3 日目 (8/20) 13:00 ～ 14:30 32 番教室	AI 活用外国語教育の未来予想図 常本 亜希 (東北大学) 峯松 信明 (東京大学) 鈴木 駿吾 (名古屋大学)

公募シンポジウム 1 2 日目 (8/19) 9:40 ～ 11:20 21 番教室	小中高の連続性を生む概念でつながる英語概念型指導 溝畑 保之 (桃山学院大学) 今井 麻紀 (東京学芸大学附属世田谷小学校) 中田 未来 (守口市立八雲中学校) 福島 伸典 (大阪府立門真なみはや高等学校)
公募シンポジウム 2 2 日目 (8/19) 15:30 ～ 17:00 21 番教室	AI 活用外国語教育の未来：GrammarXiv を使って，理論言語学と教育をつなぐ 川原 功司 (名古屋外国語大学) 成田 広樹 (東海大学) 水谷 謙太 (愛知県立大学) 亘理 陽一 (北海道大学)
公募シンポジウム 3 3 日目 (8/20) 9:10 ～ 10:50 21 番教室	国語 × 英語：「連携」授業のつくり方 榎木 貴之 (北海学園大学) 大井 和彦 (信州大学) 對馬 光揮 (市立札幌藻岩高等学校) 石井 明子 (東京都立新宿高等学校) 那須 充英 (奈良女子大学附属中等教育学校) 三浦 永理 (ロンドン大学)

◎ 研究発表・実践報告、賛助会員発表

2 日目 (8/19)

開始時刻～終了時刻	イベント
9:00 ～ 9:30	研究発表・実践報告①
9:40 ～ 10:10	研究発表・実践報告②、公募シンポジウム 1
10:20 ～ 10:50	研究発表・実践報告③
11:00 ～ 11:30	研究発表・実践報告④
12:30 ～ 13:30	開会行事・総会・学会賞受賞式
13:30 ～ 14:30	基調講演 1: 相川孝子先生
14:50 ～ 15:20	研究発表・実践報告⑤、ポスター発表
15:25 ～ 15:55	賛助会員発表、公募シンポジウム 2
16:00 ～ 16:30	研究発表・実践報告⑥
18:00 ～	懇親会（会場：北海道ビール園）

※公募シンポジウム 1 は 9:40～11:20、公募シンポジウム 2 は 15:30～17:00 です。

※ポスター発表は 14:50 ～ 15:50 です。

3 日目 (8/20)

開始時刻 ～ 終了時刻	イベント
9:10 ～ 9:40	研究発表・実践報告⑦、公募シンポジウム 3
9:50 ～ 10:20	研究発表・実践報告⑧
11:00 ～ 12:00	基調講演 2 村上明先生
13:00 ～ 14:30	シンポジウム
14:40 ～	閉会行事

※公募シンポジウム 3 は 9:10～10:50 です。

左端の列の①～⑧は p.3 の研究発表・実践報告①～⑧に対応します。

	20 番教室	E23 番教室	24 番教室	E22 番教室	26 番教室	27 番教室	28 番教室	29 番教室
①	AI による英文添削とディクトグロスを組み合わせた高校英語ライティング指導の実践：学習者による自己分析活動を通じた探究型言語学習, 土屋 進一 (西武文理大学)	内省は学習を促進するのか：オンライン英語学習における自己調整学習と先延ばし行動の関係, 小野 雄一 (筑波大学)	個人差要因が発音トレーニングにおける発音の伸びに与える影響：動機づけ・性格と学習者の取り組みの関係, 近藤 暁子 (兵庫教育大学), 山本 大貴 (信州大学)	英語読解テスト問題の低正答率項目にみる日本の高校英語学習者の読解困難：大学入学共通テスト英語リーディング問題を資料とした予備的検討, 藤永 史尚 (近畿大学)	自動詞の受動化の誤りに対する明示的指導の効果：日本人大学生英語学習者を対象とした事前・事後・遅延テストの結果から, 岡田 美穂子 (愛知学院大学)	Journal Writing Assistant を用いたメタ認知的学習支援：Community-Based Language Learning の実現を目指して, 田中 洋也 (北海学園大学)	Effects of AI-Mediated Writing Instruction on EFL Learners' Writing Development: Focusing on Fluency, Accuracy, and Metacognitive Awareness in a Small-Scale Classroom Context, TAKAHASHI, Asuka (Hokuyo University)	Exploring the role of interest in gesture-supported L2 intonation learning across human and avatar conditions, HORI, Tomoko (Juntendo University), SUGIURA, Kaori (Ritsumeikan University), TOYAMA, Michiko (Bunkyo University), AKATSUKA, Mari (Nagoya University of Foreign Studies)
②	生成 AI を用いた自律的スピーキング学習サイクルの構築と実践, 松井 久恵 (プリンストン大学)	英語学習におけるモニタリングと振り返りの役割：自己調整学習と第二言語習得の統合的視点, 宮迫 靖静 (福岡教育大学)	転移適切性処理説の観点からみた L2 連語表現学習における発声の効果, 橋崎 諒太郎 (松山大学)	VST-NJ8 に基づく高校生向けオンライン版語彙サイズテストの開発, 古泉 隆 (名古屋大学), 杉浦 正利 (名古屋大学), 村尾 玲美 (名古屋大学), 阿部 大輔 (松山大学), 江口 朗子 (立命館大学), 阿部 真理子 (岡山大学), 鈴木 駿吾 (名古屋大学)	乳幼児向け英語アニメの定型表現リストの作成, 金山 幸平 (北海道教育大学)	大規模言語モデルによる文化的コンテンツ生成の検証と外国語教育への応用, 李佳 (大阪産業大学), 王 怡人 (早稲田大学), 砂岡 和子 (早稲田大学)	Use Without Understanding? AI Literacy and ChatGPT Use Among Japanese EFL Learners, OTAKE, Shoko (Kobe Gakuin University)	Research on the Impact of Using XR on EFL Learners' Vocabulary Learning Performances, ZHOU, Nan (Toyo University), YUBUNE, Eiichi (Toyo University)

	20 番教室	E23 番教室	24 番教室	E22 番教室	26 番教室	27 番教室	28 番教室	29 番教室
③	AI を活用した段階的対話活動が即興的なやり取りの継続に課題を抱える高校生の英語によるやり取りと自己調整力に及ぼす影響, 堂井 由佳 (千葉県立一宮商業高等学校)	第二言語学習におけるメタモチベーションと自己調整学習の関係を統合的に説明する理論モデルの構築, 上野 将太郎 (神田外語大学), 竹内 理 (関西大学)	中学校英語授業における音声指導, 河内 山 真理 (関西国際大学), 有本 純 (関西国際大学)	スピーキングタスクの繰り返しにおける評価活動の効果: 自己評価・他者評価が中学生のスピーキング発達に及ぼす影響, 濱田 裕介 (希望学園北嶺中高等学校)	統語的特徴を分析するために行う発話の分割について, 近藤 悠介 (早稲田大学), 阿部 真理子 (岡山大学)	心理的動機づけに基づく AI 学習支援システム設計に向けて: 学習者特性とエンゲージメントの関連の分析, 石飛 守 (桐朋中学校高等学校)	Validating the Usefulness of Scaffolded Retention Practice and HVPT on the Acquisition of Spoken Academic Phrases, NAKAMURA, Sachiko (Tohoku University), SPRING, Ryan (Tohoku University)	Visual Attention and Test-Taking Strategies in Computer-Based Listening Tests: An Eye-Tracking Study, KANEKO, Emiko (University of Aizu), CHEN, Tzu-Yin (University of Aizu)
④	生成 AI は授業設計をどのように支援するのか: SAMR モデルに基づく対話ログの探索的分析, 本沢 彩 (関東学院大学)	小学校外国語教育における児童のエンゲージメントと自律性支援, 武田 貴世子 (堺市立西百舌鳥小学校), 池田 真生子 (関西大学)	中国語母語話者の日本語発音における自己モニター: 発音上の問題点への気づきに関する調査, 大久保 雅子 (早稲田大学)	日本の英語教育の文脈に即した批判的思考テストの妥当性検証: 英語熟達度との関係性, 久保 佑輔 (山梨大学)	英語動詞習得における母語活用の効果: 日本語動詞分類の先行指導の検証, 隈上 麻衣 (長崎大学)	異文化理解と言語学習をつなぐ非同期型国際交流の試み: 「やさしい日本語」を用いた Discord 実践, 森岡 千廣 (京都産業大学), 林 菜摘 (ノックス大学)	From Familiar to Unfamiliar, or the Reverse? Study Order Effects in Formulaic Language Learning with Interleaved Spaced Repetition Software, LAFLEUR, Louis (Kindai University), KANAZAWA, Yu (The University of Osaka), OTAKE, Shoko (Kobe Gakuin University), MATSUO, Tohru (Osaka Jogakuin University), MORISHITA, Miwa (Kobe Gakuin University)	Beyond Binary Judgments: Developing a Rating Scale Measure of L2 Pragmatic Appropriateness, OKI, Nanaho (Hokkaido Musashi Women's Junior College)

	20 番教室	E23 番教室	24 番教室	E22 番教室	26 番教室	27 番教室	28 番教室	29 番教室
⑤	AI 支援型英語学習における段階的学習プロセスの効果：音読・AI やり取り・プレゼンテーション・国際交流を通じた学習意識の変容, 高橋 美由紀 (愛知教育大学), 金城 國夫 (別府大学)	英語学習者の楽しさ・退屈さ・不安が学業達成度および英語習熟度に及ぼす相対的影響：日本の特定の英語学習環境における検討, 川光 大介 (大阪公立大学工業高等専門学校)	thought group を指導する意義はあるのか, 磯田 貴道 (龍谷大学), 大和 知史 (関西大学), 鬼田 崇作 (同志社大学)	英語ライティングにおける添削フィードバックのペンの色が学習者に与える影響, 高橋 ゆかり (産業能率大学)	LLM を活用した発話行為タグ付きディズニー映画コーパス構築の試み, 大澤 真也 (広島修道大学), 水島 梨紗 (北海学園大学), 阪上 辰也 (広島修道大学), 中西 大輔 (広島修道大学), 田中 洋也 (北海学園大学), 大木 七帆 (北海道武蔵女子短期大学)	地図とパノラマ画像が創る「情報の非対称性」：真正性に根ざした外国語学習支援システムの開発, 青田 庄真 (茨城大学)	The Perception-Production Relationship in L2 English Linking Sounds, QIAO, Wanshu (Nagoya University)	
	株式会社プロンテスト	株式会社 EnglishCentral JAPAN	株式会社アルク	チエル株式会社	株式会社 EduSupport			
	株式会社エル・インターフェース	一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会	ETS Japan 合同会社	株式会社内田洋行	株式会社 BooQs			
⑥	生成 AI を活用した理解可能なインプットの増加が小学生のリスニング理解に及ぼす効果：教科書内容を基盤とした英語授業における実践的検証, 中川 右也 (三重大学), 稲垣 勉 (阿久比町立英比小学校), 箱崎 雄子 (大阪教育大学)	協同学習は外国語学習動機づけの伸長を促すか：ジグソーリーディングを対象とした1年間の縦断的分析, 三上 綾介 (愛知学院大学), 寺井 雅人 (名古屋学院大学), 川口 勇作 (愛知学院大学)	音声情報処理 AI と発話観測技術を融合した英語発音指導の試み：口唇・舌運動の可視化に基づく大学英語教育の実践研究, 伊庭 緑 (甲南大学), 吉田 桂子 (甲南大学), 北村 達也 (甲南大学), エバリー リディア (甲南大学)	Can-do 記述の特性のレベル判定に与える影響, 鈴木 美加 (東京外国語大学)	形容詞の選択束縛とその教育への応用可能性：形容詞 recent を中心に, 増渕 佑亮 (常磐大学), 岩崎 剛毅 (兵庫大学)	AI 支援を含む国際オンライン授業における英語運用能力の変化：Virtual Student Mobility における学習環境デザインと参加支援, 関口 幸代 (明治学院大学)	Effects of Attentional Instruction on Prosodic Performance during L2 Shadowing, YAMADA, Yoshiko (Graduate Student, Nagoya University), SUGIURA, Masatoshi (Nagoya University)	Generative Motivation: Cognitive Stimulus and Dynamics of ChatGPT in English Development, KREIDER, Kyle (Sophia University)

	20 番教室	E23 番教室	24 番教室	E22 番教室	26 番教室	27 番教室	28 番教室	29 番教室
⑦	国内国際リゾートを言語活動の場とするインターンシップの設計と実践：四半期利用制度によるニセコ（公募制）と志賀高原（企業連携）の活用, 中村 雅典 (高崎商科大学短期大学部)	上級 L2 学習者のメディア・リソース利用の意思決定：インタビュー調査から, 名部井 敏代 (関西大学), 小山 敏子 (関西大学)	英語観プロフィールと学習観の関連：母語話者英語、グローバル英語、日本人英語, 池田 幸恵 (広島商船高等専門学校)	日本人英語学習者の機械翻訳に対する認識と使用の発達的变化, 越田 陽乃 (筑波大学大学院生)		楽しい反復練習を目指して：学習者生成コンテンツと L2 グリットの役割, 賀部 寿仁 (東北大学)	Enhancing Learner Engagement in Large EFL Classes: Structured Online Forums and Analytics-Based Feedback, OBERMEIER, Andrew (Kyoto University of Education)	Epistemic Emotions, Appraisal, and Participation in Teletandem Interaction: A Qualitative Case Study of Japanese University EFL Learners, YAMAMOTO, Kie (Toyo University), KANAZAWA, Yu (The University of Osaka)
⑧	Edutainment としての英語歌利用プロジェクト, 湯舟 英一 (東洋大学)		英語リスニング熟達度と英語リスニング方略使用の志向性の関係, 後藤 亜希 (東海学園大学), 山内 優佳 (広島大学)	日本の言語教育研究における研究方法の動向：JASELE Journal・LET Journal・JALT Journal (2015–2024) の分析, 末森 咲 (筑波大学), 高橋 純子 (昭和女子大学), 今澤 真紀 (筑波大学大学院生), 鈴木 絵美理 (筑波大学大学院生), 西入 映里 (筑波大学大学院生)		反転授業における授業前・授業内・授業後の関連構造とその機能：学習者エンゲージメントとパフォーマンスの観点から, 下山 幸成 (東洋学園大学)	Worldviews in the Age of Generative AI: Redefining Human Uniqueness and Educational Stewardship, OBARI, Hiroyuki (Globiz Professional University)	

◎ ポスター発表 (3 号館 2 階 23 番教室)

	発表者名	タイトル
1	後藤 一章 (摂南大学)	語彙の誘発学習を支援する常駐型ローカル AI ツールの開発
2	カレイラ松崎 順子 (東京経済大学)	韓国の放課後教育政策における英語教育の役割：ヌルボム学校導入を中心に
3	岩城 奈巳 (名古屋大学)	円安・物価高騰が海外留学に与える影響：学生調査に基づく考察
4	岩居 弘樹 (大阪大学), 大前 智美 (大阪大学)	複言語学習は児童に何をもたらすか：公立小学校 3 年間の実践と児童の声から
5	野口 朋香 (愛知学院大学)	AI 時代の Virtual Exchange 再考：オンライン国際協働学習におけるパートナー形成と参加の概念モデル
6	西川 純恵 (日本医科大学)	暗記に頼らない語彙学習：医学生向け英語リーディング授業における体系的語彙遭遇シーケンスの試み
7	大目 政敬 (静岡大学), 宮崎 佳典 (静岡大学)	ドイツ語公共ニュース聴解教材化のプロセス設計：真正素材への接続と AI 分業の明確化を軸とした統合的アプローチの試み
8	脇坂 真彩子 (九州大学)	生成 AI 時代における E タンデム経験の意味：Logbook とアドバイジングによるサポートと長期的影響
9	久保 岳夫 (国際基督教大学)	ディクテーション活動における生成 AI 活用指導
10	YAMAMOTO, Junko (Osaka Jogakuin University), OTSUKA, Tomomi (Osaka Jogakuin University)	Using AI for TOEIC Preparation in University EFL Contexts
11	吉田 達弘 (兵庫教育大学)	社会文化理論に基づく新人英語教員研修プログラムの開発